

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

HP用 平成27年 3月のきごころ通信 (先月の話題)

教育は国を作る 日本の隣人は高学力ぞろい — 高校生の学力



数学的応用力

読解力

科学的応用力

1位	上海 (中国)	1位	上海 (中国)	1位	上海 (中国)
2位	シンガポール	2位	香港	2位	香港
3位	香港	3位	シンガポール	3位	シンガポール
4位	台湾	4位	日本	4位	日本
5位	韓国	5位	韓国	5位	フィンランド
6位	マカオ	6位	フィンランド	6位	エストニア
7位	日本	7位	アイルランド	7位	韓国
8位	リトアニア	8位	台湾	8位	ベトナム
9位	スイス	9位	カナダ	9位	ポーランド
10位	オランダ	10位	ポーランド	10位	カナダ
16位	ドイツ	20位	ドイツ	12位	ドイツ
25位	フランス	21位	フランス	21位	英国
26位	英国	23位	英国	26位	フランス
34位	ロシア	24位	米国	28位	米国
36位	米国	42位	ロシア	37位	ロシア

(2015年2月2日 日本経済新聞記事から抜粋)

LIXILが下方修正 — 今期、純利益31～45%減

増税で低迷



LIXILグループは、2015年3月期の最終的な連結純利益が245億～310億円と前期に比べて31～45%減になる見通しだと発表しました。

消費増税の影響で国内住宅向け建材や住設機器の低迷が続いているためです。

(2015年2月3日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

ゼネコン、業績回復続く 大成建設・大林組 4～12月経常増益



大手ゼネコンの業績回復が続いています。2014年4～12月期の連結経常利益は、大成建設が前年同月比14%増の480億円前後、大林組は47%増の350億円程度になったようです。震災復興や都心の再開発など工事案件が増える中、採算重視の受注を進めた成果が増益につながっています。

(2015年2月5日 日本経済新聞記事から抜粋)

平成26年着工戸数 892,261戸 9.0%減



国土交通省が公表した平成26年12月の新設住宅着工戸数は、76,416戸（前年比14.7%減）となり、10か月連続で減少しました。

この結果、平成26年の新設住宅着工戸数は892,261戸（前年比9.0%減、前年980,025戸）となり、5年ぶりに減少しました。

持家 : 285,270戸（同19.6%減）で5年ぶりの減少。

貸家 : 362,191戸（同1.7%増）で3年連続の増加。

分譲住宅 : 237,428戸（同10.0%減）で5年ぶりに減少。

うち、マンションは110,475戸（同13.4%減）で5年ぶりの減少。

戸建住宅は125,421戸（同7.0%減）で5年連続の減少。

(2015年2月5日 日本経済新聞記事から抜粋)

東京圏集中、再び加速 人口流入、5年ぶり10万人超 昨年

大阪・名古屋圏 2年連続転出超



総務省が発表した2014年の人口移動報告によると、東京周辺への人口集中が一段と進んでいます。東京圏で転入超過が前年比12,884人増の109,408人に達し、5年ぶりに10万人を超えました。東京圏の転入超は19年連続。15～29歳が103,325人にのびります。

大阪圏、名古屋圏は2年連続の転出超過。大阪府は4年ぶりに転出超。名古屋圏では愛知県のみが転入超でした。全国では転入超は7都県。

大阪府、転出超に 4年ぶり 東京圏へ流出拡大 昨年

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

近畿6府県で人口の流出が続いています。大阪圏では、転出者が207,24人で、転入者を11,722人上回りました。大阪府への転入者数は2013年比4,139人減と減少数が全国最大。転出超過数が全国3位の兵庫県も転入数が1,992人減ったことが響きました。

大阪府企画室計画課は「会社員や国家公務員の東京転勤、高校生が進学した東京で就職する影響が構造的に続いている。」とみています。

兵庫県も転出超過の6割以上が東京都。京都府は転出超過数が縮小。滋賀県は46年ぶりの転出超過。和歌山県も転出超過。

(2015年2月6日 日本経済新聞記事から抜粋)

景気、上昇局面に — 昨年12月一致指数

車・携帯の出荷増



内閣府が発表した2014年12月の景気動向指数は、一致指数が前月比1.5ポイント上昇の110.7でした。自動車や携帯電話など耐久消費財の出荷が増え、2か月ぶりにプラスになりました。内閣府は景気の基調判断を、「改善」に引き上げました。

(2015年2月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

4~12月決算発表ピーク



円安・構造改革が寄与 — 富士重工業・ANA・ソニー

原油安・増税で苦戦 — 丸紅・LIXIL

消費増税の駆け込み需要の反動減は、今年1~3月がピークだろう。(LIXIL社長)

(2015年2月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

富裕層狙い高級トイレ — LIXIL 買収の独ブランド軸



LIXILグループは住宅用トイレで高級品分野を強化します。
流水音を抑えるために、水と空気を組み合わせて洗浄するシステムを搭載。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

商品の幅を広げることで、浴室やトイレ全体を統一感のある空間にできます。
富裕層を中心に販売します。

(2015年2月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

建設現場 なでしこ咲く

建設業界をあげて女性の活躍を推進する



ヘルメットをかぶって重労働——。情勢の職場として縁遠いイメージだった建設業界が替わりつつあります。深刻な高齢化と、と都心再開発やリニア中央新幹線など中長期的な工事量の増加を前に、女性の活躍は待ったなしです。

日本建設業連合会の目標

現場作業員（現在の女性比率2.7%）→5年で倍増

技術系社員（同3.4%）→5年で倍増、10年で10%に

管理職（同1.5%）→5年で倍増、10年で3倍に

(2015年2月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

不眠と尿トラブル、複雑に絡む

夜に何度もトイレ通い 水分を摂りすぎず／寝すぎにも注意



夜間頻尿対策に酔い生活習慣とは

- ①目が覚めたら、いつまでも床にいない。
- ②昼寝では足を心臓より高くして休む。
- ③日中は、ふくらはぎを適度に締める加圧ストッキングを使う。
- ④夕方、散歩などの適度な運動。
- ⑤ふくらはぎマッサージ。
- ⑥入浴はなるべく就寝3、4時間前に。
- ⑦水分の摂りすぎに注意する。
- ⑧就寝直前の夕食は避ける。
- ⑨就寝直前にアルコールやカフェイン入りなど利尿作用のある飲み物は控える。

(2015年2月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

大人のO脚 膝痛注意

子供は自然矯正

変形性膝関節症かも／肥満・運動不足で悪化



気をつけをした姿勢で左右の膝が付かず、アルファベットの「O」のように見えるO脚を気にしている女性はいくつかもありません。多くは見た目だけで問題ありませんが、高齢女性などで膝の痛みを伴っている場合は注意が必要です。痛みを悪化させないためには、体重を減らして膝への負担を減らすなどの対応も考えましょう。

「生理的O脚」と呼ばれ、赤ちゃんは元々O脚です。このO脚は通常、2歳ごろまで続きます。その後、自然に矯正され、3歳の頃には少しX脚になるのが一般的です。

(2015年2月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

ロボット 「暮らしで使いたい」47% 力仕事と家事で期待多く



暮らしでロボットをもっと使いたい？

そう思う47.0%・・・どう使いたい？

①力仕事をやってほしい。 ②家事をやってほしい。 ③ペットのように可愛がりたい。

④話し相手になってほしい。 ⑤計算や記録を代行してほしい。

そう思わない53.0%・・・その理由は？

①自分でできることは自分ですべき。 ②お金が掛かりそうでもったいない。
③必要性を感じない。 ④頼りすぎて何もできなくなりそう。 ⑤なんとなく不気味。

ロボット開発は日本経済にどう影響？

①効率がよくなり製造業が活性化。 ②熟練した職人がいなくなる。
③若者の雇用が奪われる。 ④サービス業の生産性向上 ⑤値段が下がって消費が上向く。

⑥海外のロボットに市場が奪われる。

ロボットに絶対できない仕事は？

①カウンセリングなど心をくみ取る。 ②芸術的な創作。 ③交渉や駆け引き

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

が必要な仕事。 ④研究や開発。 ⑤いずれどんな仕事もできる。 ⑥会計や法務など専門的判断。

(2015年2月8日 日本経済新聞記事から抜粋)

近畿街角景気 1月改善 — 2か月連続

消費勢い弱く



内閣府が発表した1月の景気ウォッチャー調査によると、近畿の街角の景況感を示す現状判断指数は、前月比0.2ポイント高い47.8と2か月連続で改善しました。

企業の景況感が下げ止まりました。ただ、消費の勢いは弱く、景気は足踏みが続いています。

(2015年2月10日 日本経済新聞記事から抜粋)

東京インテリア 大阪・大正に進出 — 来春開業予定



東京インテリア家具が大阪市大正区の鶴浜地区に進出します。2016年春の開業予定。大阪市は、鶴浜地区で商業施設と住宅の複合開発を目指しています。

(2015年2月10日 日本経済新聞記事から抜粋)

ゼネコン大手3社最高益 — 4～12月経常

受注選別でコスト高吸収



ゼネコン大手の業績回復が鮮明です。2014年4～12月期連結決算は、大成建設、清水建設、大林組の3社の経常利益が四半期決算の開示を始めた2006年以降で過去最高となりました。首都圏の再開発など工事量が増え、採算の良い案件を選んで受注できるようになってきたことが大きいようです。労務費と資材費の高騰という二重苦を乗り越え、利益率の改善が加速してきました。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(2015年2月11日 日本経済新聞記事から抜粋)

建物内部を3D画像に — 三菱電機 端末持ち歩き、即時



三菱電機は、タブレットを使ってビルや工場の内部をリアルタイムで3次元(3D)画像にする技術を開発したと発表しました。図面がなくても室内を精密に計測できます。

(2015年2月13日 日本経済新聞記事から抜粋)

消費の反発力鈍く — 10～12月GDP3期ぶりプラス

訪日客需要が下支え 住宅や耐久財なお低調



内閣府が発表した2014年10～12月期の国内総生産(GNP)は、昨年4月の消費増税の悪影響から日本経済がいまだに抜け切れていない現状を示しました。

住宅投資が前期比1.2%減と3四半期連続で落ち込んだほか、家電など耐久消費財の伸びも弱く、設備投資も横ばいにとどまりました。

外国人観光客の消費は好調で、景気全体の下支え役になりました。

(2015年2月17日 日本経済新聞記事から抜粋)

近畿の社長、全国最年少 — 58.3歳、平均より0.7歳若く

出身大は近大が最多



帝国データバンク大阪支社は、近畿の社長の平均年齢が全国9地域中で最も若かったとの調査結果をまとめました。2014年時点では58.3歳で、全国平均(59歳)を0.7歳下回ります。出身大学を見ると、近畿大学が前年調査と同様、最も多かったようです。

(2015年2月19日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

設置容易な断熱材開発 — 積水ハウス

床壊さず、4度上昇



積水ハウスは、床に簡単に取り付けられる断熱材「床下ヒートカバー」を開発しました。フローリングの床部分の下側から断熱材を取り付けるため、1～2日間で設置できます。

(2015年2月25日 日本経済新聞記事から抜粋)

複合介護、全国に200施設 — パナソニック

2018年度までに 売上高750億円目標



パナソニックは、ショートステイ（短期入所）訪問介護など複数のサービスを1か所で提供できる介護施設を全国展開すると発表しました。2019年3月期までに現在の2拠点から200拠点に増やします。

(2015年2月27日 日本経済新聞記事から抜粋)

大成建設2.3%賃上げ — 12,100円

人材確保へ会社方針



大成建設は、今春から平均12,100円の賃上げを実施する方針を労働組合に伝えました。上げ幅は2.3%。人材確保へ組合の要求を待たずに処遇の改善を決めました。他のゼネコンにも賃上げが広がりそうです。

(2015年2月28日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

地価上昇、最多の125地区 — 国交省1月調査



地価の上昇が続いています。国土交通省が発表した1月時点の地価動向調査によると、3か月前から地価が上昇したのは125地区と過去最多を更新。下落は前回調査の10月時点に続いてゼロでした。大阪市などが横ばいから上昇に転じました。

(2015年2月28日 日本経済新聞記事から抜粋)

足の指 動きしなやかに 正しい歩行、親指に注目

広げ伸ばす運動を／形の合った靴選ぶ はだしで過ごす



外反母趾：ハイヒールなどを履く女性に多くみられる足指の病気として知られています。

屈み指 (ハンマートゥー)：足指が曲がった状態で固まっています。大きすぎる靴の使用が原因のことも。

浮き指：足指が反ってしまい、地面に付いていない状態。女性に増えています。

☆親指にある2つの小さな骨（種子骨）が足の機能を支えています。

(2015年2月28日 日本経済新聞記事から抜粋)

